

SE 通信

葛城中学校 SE 通信

第 3 号

発行者 尾花和也

～確かな学びをはぐくむ学校～

<学びの必然性>

8 月 28 日、本校にて大阪教育大学の四辻伸吾先生をお招きし、「『**学びの必然性**』から考えるピア・ラーニング」をテーマとした校内研修会を開催しました。日々の多忙を極める業務の中、「生徒の学びをもっと豊かにしたい」という思いは、どの先生方もお持ちだと思っています。四辻先生が示された「**学びの必然性**」という視点は、これからの葛城中学校が目指す授業づくりの重要な方針となります。公開授業研に向けて、この学びを深めていきましょう。まずは、すべての学習の基盤となる「知識」の捉え方をアップデートすることから始めましょう。知識を獲得することで、生徒の「ものの見え方」は劇的に変化します。知識という確かな土台があってこそ、生徒が「知りたい」という主体的なスイッチが入るのです。この「知りたい」と思う気持ちが、生徒の知的好奇心を揺さぶり、様々な学習活動に意欲的に取り組みます。その活動の中で、生徒同士で意見を共有する場面をどのように仕掛けていくかが、生徒にとって意味のある学び合いにつながります。こうしたことは、本研修で多くの先生方が感じられたのではないのでしょうか。2 学期が始まり、公開授業研も近づいてくる中で、授業内容を見直すきっかけになったと思います。「**学びの必然性**」を意識し、今後の授業に活かしていきましょう。